



H17.11.11 No.1168
静岡県漁業協同組合連合会
☎054-254-6011 Fax054-253-9343
編集・発行＝指導部漁政課
URL: <http://www.jf-net.ne.jp/sogyoren/>

1. ふじのくにしずおかシーフードフェア開催される

水産王国しずおか首都圏トップセールス事業実行委員会(県、県水産加工連、本会)は11月8日、ホテルグランドパレス(東京都)において、県内の9漁協を始め、水産加工業者、県観光協会、県酒造組合等25団体が出展する中で首都圏のデパート、スーパー、外食産業、問屋などのバイヤー及び旅行、マスコミ関係者を招き、水産王国静岡が誇る水産物と水産を核とする地域産業などを売り込むプレゼンテーションを盛り込んだ「ふじのくにしずおかシーフードフェア」を開催しました。

始めに西川徳市実行委員会会長(本会会長)の主催者の挨拶に続き、北村正平県農林水産部長より挨拶が述べられました。次に来賓を代表して、増井徳太郎(社)日本セルフサービス協会会長(紀伊国屋社長)並びに竹山裕参院議員より挨拶が述べられました。その後ホテルの料理長より腕を振るった料理の説明が行なわれ、料理の食材について県の担当者を交えて説明が行なわれました。

引き続き招待者らは、中央テーブルの料理の試食を行うとともに、司会者が出展ブースを廻り商品・食材の招待者へのアピールを行い、活発な情報交換・商談が行われました。また、県選出の望月義夫衆院議員と県議会環境森林農水産委員長の鈴木利幸議員が会場を訪れ、県内水産物を招待者にアピールし、出展者に激励のエールを送りました。

このほか会場では、静岡県の観光、静岡県の漁業、駿河湾深層水などに関するビデオ放映が行われ、最後に村松善八実行委員会副会長が閉会の挨拶を行い終了しました。

2. 感性が光る! 「高校生おさかな料理コンクール」 - 県おさかな普及協 -

県おさかな普及協議会(西川徳市会長)では、静岡県の後援を得て11月5日、鈴木学園中央調理製菓専門学校(静岡市葵区)において、「第1回イキイキ高校生おさかな料理コンクール」の実技審査会を開催しました。

この料理コンクールは、テーマを『さかな大好き!私のチャレンジ料理』として、本年度は県内高校生を対象に、静岡で水揚げされる魚介類や海藻類をタップリと使った高校生らしい独創性のあるアイデア魚料理(レシピ)を募集したものです。

実技審査会には、応募のあった県下13校・147作品のうち、既に書類審査会(一次審査)で選考された10作品の入選者が出場し、アイデア料理に腕を競い合いました。

当日は、白井康晴副会長を審査員長に、西川徳市会長(代理・大村久男県漁連専務)、鈴木敏之鈴木学園理事長、宮田克代料理特別師範、竹内純一県農林水産部水産総室長、山本節子JF静岡女性連会長、小林昇治県水産物商業協同組合理事長の六名の審査員によって、①高校生らしい独創性(アイデア、オリジナリティがある)②普及性(家庭への調理導入が期待できる)③健康性(素材や栄養的なバランスがとれている)④味・香りのよさ(さかなの持っている特性が十分活かされている)⑤調和性(味・色合い・盛り付けの取り合わせに考慮がなされている)等をポイントに審査が行われました。

安全・安心な水産物供給と活力ある漁業づくりに努めよう

自立漁協の構築に向け合併・事業統合を進めよう

その結果、アジ・シラス・桜エビを素材に寿司飯にして、シュウマイの皮で包み蒸し上げた料理を創作した、静岡市葵区在住の岩崎美加子さんの「シュウマイ風 一口寿司」(静岡東)が、アイデアや味付けに高い評価を得て、栄えある最優秀賞(県知事賞)に輝きました。また、優秀賞(県おさかな普及協議会長賞)には、下田市在住の石関杏沙さんの「鯖(たかべ)と桜蝦の中華粽(ちまき)」(下田北)が選ばれました。

優良賞2点の内、(県水産物商業協同組合理事長賞)には、静岡市清水区在住の戸塚綾乃さんの「金目の酒蒸し野菜あんかけ」(静岡市立)、同じく優良賞(県魚市場協会賞)に静岡市清水区在住の高橋茉莉さん「プリングDEチューナ」(静岡サレジオ)が選ばれました。その他、審査員会特別賞(JF静岡女性連会長賞)(静岡県料理学校協会賞)が各一作品、佳作が4作品選ばれました。

同協議会では、今後、これらの作品を料理集にまとめ、県下の高等学校、鮮魚小売店等やイベント時に配布し、一般においても献立に利用されるよう普及していく予定です。

3. 口坂本の森クラブ 秋の活動へ参加

本会では去る10月23日(日)、静岡市葵区口坂本悠久の森において口坂本の森クラブの構成メンバーが一堂に会した秋の活動に参加しました。

当日はAからF班の約60名の参加があり、そのうちA班(漁業者グループ)からは17名(参加団体:静岡漁協青壮年部、由比港漁協(蒲原)女性部、県信漁連、県漁船保険組合、県漁業振興基金、県生協連、農林中央金庫静岡支店)が参加し下草刈りを行いました。

今回は、夏の下草刈りが天候不順によりできなかったこともあり、ススキなどが背丈ほど成長するなど、参加者は汗を流しながら下草刈りを行いました。昼食は、豚汁が振舞われ秋晴れの晴天の中、他の班の人と情報交換するなど和やかな昼休みを取りました。昼食後、植樹した樹木へ名札付けをして今後の成長を見守ることにしました。

4. 新刊図書紹介 「逐条解説漁業法」 漁業法研究会著

漁業法は、漁業生産に関する基本的制度を定めるとともに、水面の総合利用による漁業生産力の民主的発展を目的として昭和24年に制定され、以来、数次の改正が行われていきます。

本書は、平成9年に水産社から刊行されました『早分かり「漁業法」の全解説』とは異なり、漁業法の全条文を網羅しました。水産庁の漁業法の実務経験者が中心となって、「漁業権制度」、「漁業許可制度」、「漁業調整委員会制度」、「漁業補償」などの最新の解釈と同法の政省令・水産資源保護法などの漁業関係法令、水産庁の漁業法に関する公的解釈、判例等を交えて条文ごとに詳細かつ分かり易く解説しています。

▽A5版・626頁 ▽定価: 7,350円⇒特価6,600円(税込) ▽送料: 340円

▽問合せ・申し込み先: 時事通信社事業部 TEL: 03-3524-6962 FAX: 03-3542-5554

5. 諸会議・日程(11月15日(火)～11月28日(月)) - 既報分省略 -

11月22日(火) 県信漁連＝理事会 (県水産会館)

11月24日(木) 県漁業振興基金＝伊豆東岸地区協議会 (網代港漁協)

11月25日(金) 県漁業振興基金＝伊豆西岸地区協議会 (内浦漁協)

〃 県しらす船曳網漁業組合＝支部長会 (静岡市葵区・三笑亭)

漁協系統事業の全利用運動を進め組織の強化を図ろう